

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—素晴らしいことなんです—

NO. 91



「好きな人」「好きな場所」「好きな遊び」を作って広げていくことが大切です。って、事あるごとにお伝えしていますが、特に今回は、「好きな遊び」があることの素晴らしさを、お話していこうと思います。年末年始、いつもより、家で子ども達と過ごす時間が長くなるので、少し意識して過ごしていただくと、何かが生まれるかもしれません。さて何でしょうね？

あんずに来たての小さい頃は、遊び込めるものが少なかったり無かったりしている子が多いです。自由な時間は、狭い範囲のお決まりのことで過ごすことが多かったり、歩き回ることが多かったり。興味関心が広がりやすく、関わるよりも自分のしていることを守る場面が多かったりもしがちです。そして、あんずでの時間も活かしながら、好きな遊びを見つけ、楽しめる時間を少しずつ増やしていきます。

好きな遊びが見つかり、何かに向き合い続ける経験を楽しく重ねることができます。繰り返し取り組む楽しさを知ることもできます。

好きな遊びがあれば、人と関わる接点を見つけやすくなります。寄り添ってくれる人や、同じことをしているお友達が気になるからです。（遊びを見つけをしながら、一緒に遊びましょう）

好きな遊びがあると、できることが増えていきます。同じことを何度も繰り返すことが、スキルアップには欠かせません。繰り返しているうちに、自然と試行錯誤を重ねることができ、少しずつできることの幅が広がっていきます。（大人の手伝いどころです）

好きな遊びがあると、少し見通しを持てるようになってきます。「これが終わったら、あれで遊びたい」「ごはんの前は、これで遊ぶんだ」なんて考えちゃいけないかもしれませんが、日々がそう流れていくと、自然と時の流れがわかってきます。（リズムを作っていく絶好の機会です）

好きな遊びがあると、自分らしさを自分で取り戻せるようになります。家に帰ったら、その好きな遊びで癒され、ガソリン補給です。落ち着かないとか、イライラしちゃうなんてことが減っていきます。なので、好きな遊びがあると、少し我慢できるようにもなるのです。

少し大きくなっても、好きな遊びがあることで、生活はとても潤います。

好きな遊びがあると、そこから派生して学べるものが広がっていきます。動物や昆虫や食べ物、クルマやキャラクターなどから、名前を覚えたり、文字を字面（じずら）で覚えていったりします。“あいうえお表”で覚えるより、断然吸収しやすいですし、楽しく学ぶことができます。そのうち、それが趣味になり、お休みの日の出掛け先になっていったりします。（ぜひ活かしてくださいね）

好きなことをする時の身支度は、さっさと済ませられちゃったり、少しの行列ならば待てるようになったり。何より「楽しかったね」と振り返るエピソードが、会話の幅も広がっていきます。休みの日を楽しみにするようになり、生活の幅が広がっていきます。

子どもは、好きな遊びには自分の全てを総動員してきます。スキル、関わり、言葉、安心安定等、生きていくことの全てを豊かにしていくのです。おろそかにしちゃいけません。

私たち大人も、時間はないかもしれませんが、小さな遊びを見つけたいですね。（R5. 12）K

